

【別紙2】

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】 学校名 静岡市立高等学校

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	1年 普通科 42人 科学探究科 42人 計 84人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (〇) 体育 (体育理論) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・パラリンピック、パラスポーツについての理解を深める ・人生において困難に直面しても前向きに立ち向かったモデルの話聞き、考えを深める。
5 取組内容	・ロンドンパラリンピック出場の春田純選手による講話 

6 主な成果	・パラリンピック、パラスポーツについて理解を深める事ができた。 ・身体障がい者について理解を深めることができた。 ・生徒自身が経験したことのないこと（病気による後天性障害）の話を聞いたことで、価値観や視野を広げるいい機会となった。
7実践において工夫した点 事業の特色	・実際に選手が来校し講話を行って頂いたことが大変良かった。
8主な課題等	・事業の計画的な実施 ・事前学習の充実 事業計画書の内容から大幅に内容が変更されたにもかかわらず、実施決定から実施日までに時間がなく、十分な準備ができなかった。加えて、事業計画書の提出から実施決定までに4ヶ月ほどかかったが、その間実施できるのかできないのかの連絡調整がなく非常に困惑した。選手、コーチの事情で調整がつかないことは十分理解しているが、事業の実施効果をねらい通りに引き出すためには、十分な事前学習が必要と考える。 また、時期について、3学期は体育的行事を含め学校行事が短い期間の中に多くあり日程調整が難しい。2学期末までに行えたと授業の内容、時間の調整が行いやすいと感じた。 そのため、少なくとも実施の有無や、希望通りに行かない場合については早めに連絡していただきたかった。
9来年度以降 の実施予定	・オリンピック、パラリンピックの選手やコーチとともに生徒がその種目を体験できる機会がほしい。